

48. 宇久島・小値賀島

地 域	北松浦郡宇久島・小値賀島
交 通	九州商船 佐世保—平—小値賀
地形図	小値賀島 (1/50,000)

この地域は主として第四紀の安山岩および玄武岩から構成され、ことに小値賀島周辺には小規模な岩滓丘（噴石丘）が多数集合しており、北松玄武岩と区別してこの地域を「小値賀島火山群」と呼ぶ。宇久島の火山活動は小値賀島玄武岩より前で、厄神鼻および寺島に分布する玄武岩は其中でももっとも古く、それをおおって安山岩質凝灰岩およびれき層が堆積した。その後、宇久島を構成する斑晶質安山岩の活動期に入り、数回の活動による溶岩流および火砕岩が島の概形を形成した。そして島の最高峰城ヶ岳を形成する流紋岩類の活動に終わっている。斑晶質安山岩は石英、かんらん石、輝石まれに角せん石を含有しているが一応アルカリ岩系に入る。

次に、各地点で観察できる事および採集し得る鉱物等について、図の番号順に述べよう。

1. (大浜海岸) ……宇久島では絶好の海水浴場で、海岸砂はすべて shell sand である。海岸の南部はかんらん石・輝石を含む斑晶質安山岩の溶岩流が露出している。中央部から北部にかけては玄武岩質の凝灰角れき岩（爆裂角れき岩および火山れき凝灰岩層）のみごとな露頭が観察される。また、厚さ10cm程の shell limestone が角れき岩層の浸食地形を平行に被覆している。

2. (五島崎) ……一般に島の北西海岸では2～3枚の溶岩流の累重関係が観察できるが、ことにこの付近は良好で、集塊岩層およびそれに貫入している岩脈などがみられる。なお、溶岩流の間には腐



宇久島・小値賀島

蝕土が生成していないので、それぞれの溶岩流の活動には時間的間隔が短かった事を物語っている。

3. (厄神社—飯良崎周辺) ……干潮時しか観察できない玄武岩流の上位に黒曜石のれきを多数含有する厚さ数mの安山岩質凝灰岩層があり、その上位に薄いれき層がある。神社の西海岸ではこれらをおおう斑晶質安山岩の関係がわかる。れき層は玄武岩・チャート・砂岩れきである。

4. (采盛山 168m) ……この付近から城ヶ岳にかけては、宇久島の主構成岩である斑晶質安山岩の活動の一中心地と考えられる。この付近では岩滓を観察することができる。

5. (山本神社～山本池付近) ……城ヶ岳流紋岩と下位の安山岩溶岩との上下関係が良く見られるところである。山本池の横では斑晶質安山岩を不整合に砂層(2 m)が、さらにそれを流紋岩がおおっている露頭が見られる。この事実は両者の活動に休止期のあった事を示している。また、神浦方面に通ずる新道でも砂層ははさまれないが同様な地質関係が見え、しかも斑晶質安山岩の上部多孔質部から曹灰長石の結晶粒を容易に採集することができる。

6. (木場) ……前地点と同様に安山岩と流紋岩との上下関係をみることができる。

7. (平港付近) ……中学校の校庭およびその付近では広く斑晶質安山岩の岩滓が観察でき、港の東方海岸では赤褐色の岩滓をはさんで2枚の溶岩が重なっている。

8. (馬背岳→殿崎山海岸) ……笛吹港から東へ干潮時をねらって馬背岳・赤岳・殿崎岳に行く海岸ルートである。港から船瀬までは番岳の玄武岩溶岩を2～3枚みることができ、それぞれ斑晶鉱物の量が異なるので容易に区別できる。船瀬から先は馬背岳・赤岳・殿崎山と3つの岩滓丘を調べることができ、赤岳では馬背岳との不整合関係を観察でき、赤岳の活動が古い事を知る。岩滓層はきれいに成層しており、いろいろな型の火山弾を採集できる。また溶岩流・岩脈などもあり、噴火の中心にごく近いところであることがわかる。

9. (本城嶽) ……西の愛宕嶽と並んだ岩滓丘であるが、両者の中程道路側で岩滓層の小さな谷にそって溶岩流の流れている露頭が見える。また、愛宕嶽北東海岸では岩脈と溶岩流の連続した露頭をみることができる。前地点と同様に種々の火山弾が採集できる。

10. (斑島) ……島の西海岸から小船で渡ることができ、斑島火山の溶岩流を採集し、島の北海岸に行けば大小のポットホールが目につく(玉石鼻)。さらにその西方では溶岩流が岩滓丘をおおっているところがみられ、また頂上に登れば火口地形が観察される。

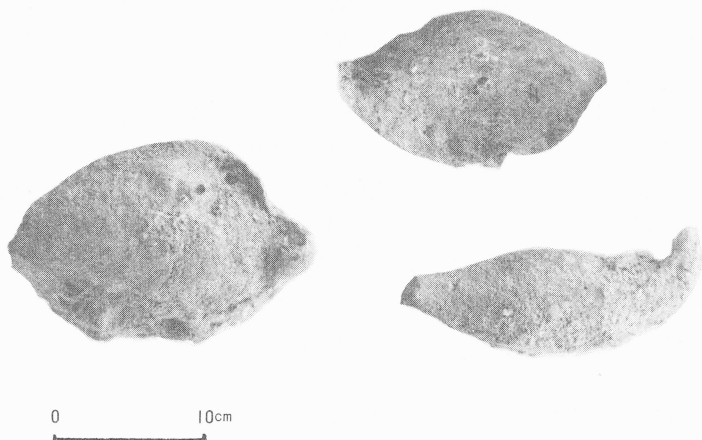
11. (大島・宇々島・藪路木島・古路島) ……小値賀島の南西海上に浮ぶ島々で、そのほとんどが岩滓層および薄い溶岩流から構成さ

れている。大島の北西岸では斑島の南西岸に分布している小値賀島火山群の活動の初期に相当する玄武岩質火山れき凝灰岩層があり、それを不整合に新しい岩滓層および溶岩流がおおっている崖がある。このほかの島々では岩脈や溶岩流がみられる。

12.(番岳)……島の最高峰で頂上付近には火口地形を残しており他のものより噴火の規模が大きく、溶岩流も多く流出している。番岳の南、西側は岩滓の観察に適している。

この他に、岩滓丘はいくつかあるがいずれも類似している。小値賀島の岩滓または溶岩は外来結晶・包有物に富んでいるので斑晶鉍物とともにいろいろなものを採集することができる。

(松井和典)



小値賀島の火山弾